

市立貝塚病院

〒597-0015
大阪府貝塚市堀3丁目10-20
TEL 072-422-5865 (代表)

地域住民を守る良質な医療の提供

市では、市立貝塚病院を市民の命を守る地域医療の拠点として、最新かつトップクラスの医療の提供を目指しています。
『人材』『機器』『ネットワーク』『先進医療』の充実で、着実な歩みを続けています。

大阪府がん診療拠点病院指定病院

「質の高いがん医療を受けることのできる医療機関」として、平成23年3月に大阪府から指定されました。

人 林 トップクラスのがん治療を実現する がん治療の第一人者の専門医

当院では、最新かつトップクラスの治療を行ってきた第一人者の専門医を招き、がんを中心とした医療体制の強化を積極的に進めています。それにとめない専門センターを随時開設、リニューアルしてきました。高い技術と専門性を活かした治療はもちろん、先進医療の施設認定も受けており、その適応も広げていく予定です。

大阪府下でも、北部に比べ人的資源・設備ともに不足している南部地域に良質な医療を提供する。そのためにも、高度な医療を実践し、その知識と技術を継承し、医療の質の向上に貢献できる情報を当院から発信する・・・市民病院の挑戦です。

機 器 がんの放射線治療へ大きな期待 最新型放射線治療装置

がん細胞の形に合わせて正確に放射線を集中させ、正常細胞への照射を減らす最新技術で、合併症が少なく、より効果的な治療を行うことができます。南大阪地域では、当院が先駆けて平成23年に導入しました。



人 林 最新装置をより安全に 効果的に使用するために

●放射線治療医

欧米に比べ放射線治療の利用率が低く、放射線治療を専門とする放射線治療医の数が非常に少ない中、当院では、放射線治療医により高度な放射線治療に対応する体制を整えています。

●医学物理士が常勤する「医学物理室」

「医学物理室」は、放射線治療の精度管理・品質管理・治療計画を行う部署。一般にはまだ普及しておらず、特に医学物理士の常駐する病院は多くはありません。当院では、安全な医療の提供のため、いち早く設置しました。

【婦人科系女性のがん手術数順位】

	大阪府内	泉州医療圏
・乳がん	9位	1位
・子宮頸がん	12位	1位
・子宮体がん	9位	1位
・卵巣がん	3位	1位

※週刊朝日MOOK 女性のための「いい病院」
2012年9月15日発行

婦人科腫瘍センター

婦人科腫瘍の治療の際に考えなければならないのは、妊孕(にんよう)性温存(妊娠能力を残すこと)です。

当院は、子宮頸がんの進行がんに対する妊孕性温存手術が可能な数少ない施設。『生殖医療センター』もあり、不妊症の原因となる疾患を治療後、引き続き不妊治療を行うことも可能です。

ネッ ト ワー ク

質の高い専門性の ネットワークが 質の高い医療を生む

専門センターでは、様々な科や職種のスタッフが連携し、質の高いチーム医療を目指しています。専門医だけでなく、専門教育を受けた認定看護師なども活躍。専門性を高める教育への支援も行っています。

* *
大学病院などとのデータや技術協力により、最新で高度な医療の提供が可能に！

* *
地域の医療施設との連携も、積極的に行っています。

先進医療とは？

今後、保険診療への導入が検討されている最新の医療技術のこと。厚生労働大臣が認めた医療機関のみで実施できます。

乳がん高度検診・治療センター

専門スタッフの人員・治療内容・規模ともに、一般病院では関西を代表するとと言える医療体制です。

乳房温存治療の第一人者とともに形成外科医が常勤し、乳房再建も迅速に対応することができます。

人 林 乳がん検診の診断精度を保ち早期発見を

●マンモグラフィ診断医・マンモグラフィ装置・ 診療放射線技師、全て最高レベルのAランク

マンモグラフィによる診断精度は、撮影者・撮影装置・読影する医師の技術に大きく影響されます。講師としても活躍するスタッフの技術によって、乳がんの治療は支えられています。

消化器センター

消化器内科・外科それぞれの専門医が集まり、平成24年に開設しました。体への負担が少ない内視鏡手術の対応はもちろん、南部地域には少ない肝臓分野を得意とする消化器内科・外科としての役割も担っています。

当センターを、婦人科系疾患と並び当院の治療の柱とするため、今後もより一層の充実に努めていきます。

先進医療 技術と実績のある施設だからこそ 厚生労働大臣が認証した最新医療を

原発性乳がんや再発卵巣がん、卵巣がん、原発性腹膜がんなどに対応した先進医療を行っています(保険対象外)。※詳しくはお問い合わせください。

また、子宮体がん内視鏡手術適応の先進医療施設認定取得に向けて取組んでいます。